

読書バリアフリー研究会 アンケート回答（2016_6_4 東京会場）
～さまざまな障害のある子どもの読書を支援する～

参加者 **55**、アンケート回収 **52**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	30	
友人・知人の紹介	3	
ウェブサイト・ブログ	4	当財団 HP 1、Kinta のブログ 1、本のこまど 1
メーリングリスト	2	JLA 1
その他	13	職場 5、図書館 2、財団より直接 2、TRC 1、音ボラネット 1、子どもの読書活動推進フォーラムの財団ブースにて 1
合計	52	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
41	10	1	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア DAISY がいろいろな特別支援学校で読まれ始めたことに感動しました。4、5年前では広報してもなかなか利用されなかったので感無量です。 ・公立図書館で障害者担当をしておりますが、具体的に障害についてわかっているわけではないので、今回のこの研究会には期待して参加しました。河野先生の大変分かりやすいお話と資料をありがとうございます。 ・はじめに、学習障害の基本を動画も使って分かりやすく、正しく教えていただき、午後は各学校での図書館の実践という構成もよかった。みなさんの環境整備もさることながら、児島先生の「読む」ことへの機会、「楽しむ」ということへの努力のお話、個々のお子さんの DAISY 活用の具体的な映像も説得力がありました。DAISY の普及のためのアンケート結果も興味深かったです。 ・図書館で児童サービス、障害者サービスに携わっています。今回、マルチメディア DAISY、障害のある子どもたちの読書状況についてお話が聞きたいと思い参加させていただきました。マルチメディア DAISY についてはほんの少しの知識しかなかったのですが、基本のお話からしていただけて、とても勉強になりました。また、様々な事例からお話を伺うことができたことが良かったです。 ・障害についての知識が不十分だったが、最初の河野先生の講義で理解が深まった。障害別の講義は分かりやすく、各先生のお話も最後まで興味をもって聞くことができた。 ・過去の発表会（読書バリアフリー研究会）にくらべて先生の発表と参加者の熱い思いをひしひしと感じました。DAISY の方向性が間違っていなかったと思いました。 ・発達障害の特徴と具体的な接し方、支援の効果的な方法がとても分かりやすく紹介していただけて理解しやすかった。レジュメ以外にも映像やスライド等様々な方法の講義であつという間の時間でした。特別支援校の先生方の講義も実際の現場での工夫や取り組みのお話だったのでとても興味深い内容でした。 ・DAISY 図書を作る側ですが、中々どのように利用されているかを知る機会はありませんので、このような会は大変ありがたいです。少しわかりにくい話もありました（持ち時間などで落ち着いて進められなかったのでしょうか…情報も経験も豊富な方のようなのでちょっと残念でした）。

- ・公共図書館に勤務する職員です。東京・多摩での研究会は昨年に続き2年目とありましたが、今年初めて参加させていただきました。大変有意義な内容で正直驚きました。日頃の業務で「発達障害の支援方法」、「特徴」等々意識することも学習する機会も得ないなかで働いて来ました。実は図書館職員として今まで全くと言って良いほど学習しないままであったことを反省。本日の資料、図書館職員へ供覧したいと思います。
- ・河野先生の講座、とてもよく分かりました。私も支援必要人間で、これまで様々な人のご支援でここまで来れたのかもしれないと思いました。各学校の取り組みも素晴らしいと思いました。
- ・公共図書館に勤めていますが、マルチメディア DAISY をどのように利用者に、学校に PR していけば良いかということを考えていたが、今日の話の中では、河野先生の話が、それ以前に、様々な障害のことがたいへんよくわかり、日常の図書館での対応にも役立つものであった。また、各学校での実践は、とても分かりやすいものでした。
- ・発達障害の各特徴や、対応方法がとても勉強になりました。本日の話を聞いて、マルチメディア DAISY の活用方法、PR 方法を考えたいと思いました。
- ・発達障害の種類や対応、支援の仕方について詳しく知ることができました。肯定的な言葉、分かりやすい表現でというのは目からウロコでした。学校の図書館をリニューアルする際に、生徒の声を生かしたり、一緒に展示を作成したり、また図書館の校内での位置を工夫したりして図書館に生徒が来やすくなり、「ワクワクドキドキする場所」として話されていたのがとても印象的でした。マルチメディア DAISY についても実際に子どもたちが楽しんで聞いている様子を知る&見ることができてとてもよかったです。皆さまのお話を聞いて環境整備が大変重要なものなんだということに改めて思いました。本日はたくさんの貴重なお話ありがとうございました。
- ・リフレーミング→見方を変える、という事は、日々の仕事に追われていて、一方的な考えに偏りがちだった自分にとって新鮮でした。
- ・公共図書館に勤めている者ですが、ほとんど DAISY 図書知識もなく、様々な支援学校で色々な取り組みを行っていることを知れて、すごく為になりました。全ての学校教諭に共通して、子どもたちのため、社会でうまくやっていけるような支援、大人が制限をしないで視野を広げてあげることとても大切にしていることを実感しました。本の良さを伝える、周りのサポートが何より大事だなと痛感した貴重な時間でした。
- ・発達障害のいろはから、障害が異なる支援学校の事例を直接聞いて大変参考になりました。活用方法以外にも様々な子どもへの学習支援の仕方を聞くことができたため、利用促進を図る参考になりました。
- ・今日はありがとうございました。障害についても理解していなかったもので、本のすすめ方など根本から間違えていたと気づかされました。また、普段は公共図書館で児童を担当していますが、誰にでも開かれた図書館をめざすためにも、配架の仕方や図書館づくりにも、視野がぐっと広がったと思います。
- ・マルチメディア DAISY 図書が何となくわかりました。肢体不自由、視覚、聴覚、知的障害、それぞれの支援がわかりました。各学校それぞれの特徴と先生方の努力が素晴らしいと思いました。
- ・図書館員です。普段会う機会のない特別支援学校のお話が聞け、有意義な時間でした。また、大学教授による説明も分かりやすかった。
- ・バリアフリーといっても具体的にどんな障害に対してどのような支援や障壁の解消が必要なのか、イメージがわかりませんでしたが、豊富な動画や人の声で説明していただき、自分に対するバリアが解かれたように感じられました。自館に帰って、あらためて学校との協力など、考えねばならないと思いました。
- ・発達障害の基本に関して、事例も入れながら、とても分かりやすく説明していただけて、とても勉強になりました。図書室の運営に関して、特別支援学校、しかも全国各地の事例を聞く機会があまりないので、各障害種学校の事例を聞いたのは本当に貴重な機会でした。
- ・発達障害についての説明、その対応がよく分かりました。色々な種別の支援学校の先生たちのお話がかえって良かったと思います。特に、鹿児島県立聾学校の先生、鳥取大学特別支援学校の先生の

お話に深く感銘しました。

- ・特別支援のための学校図書館のこと、いつも??だらけだったので、早速取り入れられるものから取り入れていきたいと感じています。AMの河野先生のお話も改めて指導の工夫を見直すきっかけになりそうです。
- ・河野先生のお話がとても分かりやすく、勉強になりました。実践例については、発達障害支援についても発表があるとうれしかったです。
- ・この研究会に何度か参加させていただいています。多くの学校に広がりを見せていることや、実践例を聞かせてもらったのが良かったです。
- ・5名の方から具体的な貴重なお話を伺えて大満足です。ネット(会員登録制?)などで次回もぜひ参加いたしたく、ご検討下さい。
- ・現任校ではDAISYがほぼ使われていない状態なので、他校での使い方を知ることができて良かったです。
- ・河野先生のお話は、より具体的で障害を持つ方への接し方の参考として大変有意義でした。
- ・様々な障害種について、その対応、実績を知ることができ、今後の業務の参考にさせていただきます。マルチメディアDAISYのご説明も分かりやすかったです。
- ・各先生の熱意と具体例を伺えて、とても参考になりました。今後導入に向けて励みになりました。
- ・資料、講義の内容が充実しており、DAISY図書を使っている図書館の実践を具体的にきくことができたのでよかったです。
- ・発達障害のいろはで、どのように対応すれば良いか知ることができた。DAISYを活用することで図書館利用にもつながり、それが社会参加や生きる力にもつながることが知れた。
- ・障害といっても様々で、先生方が一人一人のお子さんに寄りそい、何を求めているかを考えながら企画展示をされている姿に感心しました。全国でボランティア・学校・出版社・財団などの素晴らしい活動が共有され、より広く認知されればと思います。
- ・公共図書館の取り組みの中で弱いと感じる部分であり、また、多くの方へ利用してもらおうという点において強化していく必要を感じるところでしたので、勉強になりました。また、私の勤め先でも、公立学校との連携はあるのですが、関わりのある人しかないという状況なので、より協力するべきではという考えも生まれました。
- ・河野先生のお話で、発達障害について理解を深めることができました。児島先生のお話では、学校司書の果たす(果たせる)役割もよく分かりました。
- ・それぞれの先生方のお話はとても聞きやすく、理解しやすく大変良かったです。現場での先生方の仕事を頑張っておられる姿がありがたく感銘を受けました。
- ・本日の講師の皆様、現場のお話、なんといっても貴重でした。石井先生もわいわい音訳者になられては。
- ・参考になりました。
- ・未記入 3

やや満足の理由

- ・マルチメディアDAISYの活用方法がいろいろ知れて良かったです。DAISYの授業での活用方法がもっと知りたかったです。
- ・それぞれの学校での読書支援の取り組み、とても勉強になりました。マルチメディアDAISYの導入に向けて参考にしたいと思います。
- ・DAISY図書を取り入れて成功した例の発表を知ることができ、とても勉強になりました。肢体不自由の特別支援学校に勤務していますので児童生徒たちへの情報保障には不可欠になってきます。現在は

まだ学校の PC 教室に限っている状態ですので、十分な活用を目指したいと思います。

- 現場の生の声が聞けてとてもよかったですと思います。
- 様々な障害の特徴とその読書環境が一度に聞けて良かった。
- 障害の種類や特性に応じて、各学校の具体的な事例のお話が聞けて大変参考になりました。当館（公共図書館）でも DAISY 図書の導入をしているが、活発な利用まで実現できていなく、マルチメディア DAISY 図書の活用をどのようにしていくのか課題です。本日は、そのヒントになるお話が伺えて、良かったです。
- 障害者という定義について深く考えさせられました。健常児童の対応と変わらないと思いました。（叱ることは有効か？）など。
- 我が子が小学生の頃と比較して、ADHD のお子さんが増加している現在の状況を知り、来館する子どもたちへの対応に、少しでも役立てることができればと受講しました。一朝一夕にはわかることではないが、現場からの声が聞けたことはとてもよかったです。「発達障害のいろは」も素人にはありがたい講義でした。松田先生のお話は非常に分かりやすく、熱心な取り組み姿勢に心打たれるものがありました。児島先生のお話は子どもたちの生の映像もあり現場の様子がよく伝わってきました。私は公共図書館ですが、司書の持つ役割の大切さを痛感しました。全校に司書が配置されていることも、うらやましいです。
- ここ数年毎年聴講させていただいておりますが、いつも新たな発見があります。「ペアレントトレーニング」普通の子育てにも使えそうですね。が、すごく難しいですね。だからこそ「トレーニング」なんだなあと納得でした。また、河野先生の「社会生活に支障をきたしていないなら診断など受けなくてよい。支援が必要だから診断を受ける」とのお話はとても腑に落ちました！石井みどり先生、点字図書の奥付でよくお名前を拝見していたのでお話をうかがうのを楽しみにしていましたが、ちょっと時間が短かったのか、ご発表の内容は少しわかりにくかったかもしれません…。鹿児島県の聾学校の先生のご発表がとても印象的でした！矢部さんがおっしゃっていましたが、一番遠い(DAISYと)障害種別だったので、今後どのようにアプローチしていくかということの参考になりました！

•未記入 1

やや不満の理由

- 先生が自身は自閉症だとか、スタッフの方は ADHD の方だとか笑いながら話をされているのは、なんだかとてもイヤな感じがしました。知りたくもありません！こちらは、わざわざ休日に一生けん命勉強しに来ているし、ADHD や自閉症は特別な人じゃないこともわかっているし、自分もそうかも？しれませんが…もう少しモノトーンで話してほしいと思います。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- マルチメディア DAISY 作成ソフトの種類や良い点・悪い点も知りたかったです。
- 毎年寄贈いただいているマルチメディア DAISY は、話を一話ずつ分けて CD におとし、書誌をつけて貸し出し用として装備しています。今後、支援学校だけでなく、区内校長会にてデモンストレーションし、活用促進に向け動く予定です。
- クリアファイルのいちばん下の黄色い帯は、スリット代わりになるのですね。いいアイデアと思いました。文字とはなれたところにあるともっといいかも……。
- 今回学んだことを図書館の事業に少しでも生かすことができればと思います。ありがとうございました。
- 今回のイベントをたった二人で主催されたということで、伊藤忠記念財団のお二人の仕事に驚きを感じました。ぜひわいわい文庫を活用できるように職場で取り組んでいきたいと考えています。
- 公的な機関だとやっていいか悪いかの法律の勉強ができていないがゆえに導入をためらうケースがあるかと思います。37 条についても解説が詳しいとありがたいかと思いました。
- ありがとうございました。

- ・公共図書館にて障がい者サービス担当を行っています。今後は一般のみならず児童支援も考えると共に一般の方へもマルチメディア DAISY 図書の利用も検討していかなければならないと思いました。いつも「わいわい文庫」を送ってくださりありがとうございます。
- ・休憩の入れ方がよい。
- ・まだまだ発展していける支援ですが、長く続けるのが最も大切なのかなと思います。よろしくお願いします。
- ・わいわい文庫の特徴や使い方など、よくわかりました。今後さらに活用させていただきたいと思います（紙芝居版たのしみです）。あつという間の一日でした。有意義に学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・著作権法等の改正があり、利用しやすくなったことを職場でも広めたい。
- ・EPUB3 へのことなど、メールでうかがいたいと思っています。
- ・会場が寒いように感じました。このような勉強の機会を設けてくださり、大変参考になりました。
- ・次回は公立図書館での取り組み、できれば学校と公立図書館との連携が上手くいっている事例を伺いたいです。本日は大変勉強になるお話を伺えてよかったです。ありがとうございました。
- ・パワーポイントの切りかえが早いところがありましたが、とてもお話が丁寧でとても勉強になりました。
- ・特別支援学校ではなく、普通の小中学校内に設置される通級・固定の支援級が増えていますが、ICT や環境面での整備は進んでいません。一方そういった学級の子どもたちが学校図書館に「読書」と称して連れてこられることも多いのです。マルチメディア DAISY の活用をできないかと考えています。
- ・とてもいい講座でした。これからも利用者の方が増えるといいですね。
- ・講師の声がきこえないことがあった。
- ・公共図書館での実践例についてのお話も伺いたいです。
- ・難聴児向けに手話入りの DAISY があってもよいのではないのでしょうか。ゆっくり再生、少し戻る、進むがかんたんにできる DAISY は良いと思います。文章の理解がむずかしい聴覚障害児は、分かりにくい所は、ゆっくり、くり返し読むこともあります。手話の読み聞かせビデオ・DVD は、さし絵を出してから、手話だけで語る、というのがあります。文字と手話の語り順は違っていることも多いので、手話と音声文字を完全に同期させるのは無理だと思います。ですので、さし絵を出し、その後、手話・音声・文字をだいたいいくらくらいで同期させると良いのではないのでしょうか。
- ・本日の研修会は、とても参考になりました。さっそく持ち帰って実践してみたいです。いろいろな使い方ができ、可能性が広がったように思います。
- ・聴覚障害のある子どもへの活用を知りたかったのですが、今日はマルチメディア DAISY の様々な使い方が知れたので、それを参考に自分で考えてみようと思った。
- ・一人一人に寄り添った図書館でありたいと思います。
- ・iPad のアプリが有償で、予算編成上早くても来年度の導入になること、また図書室の環境が会議室兼用になっていて、きちんとした管理が難しいことが問題か…と危惧しています。
- ・公共図書館でのマルチメディア DAISY の活用方法についても伺いたかったです。
- ・どんなに興味深い講演でも、聞いているだけでは眠くなります。プログラムに工夫が必要と思います。
- ・障害者サービスはライフワークとしても一生続けるつもりですのでよろしくお願いします。
- ・未記入 25